

配管リスク及び寿命管理のためのソフト



- 配管リスク監査により、点検メンテナンス人員をリスクに集中させることができます。
- 暗黙の了解であったリスクの時間尺度を基に、最適な点検周期を構築することができます。
- リスク軽減対策が特徴づけられ、点検頻度目標に合致するよう選択されます。
- 新しい API RP 580 に準拠した非常に使いやすい点検管理ツール。

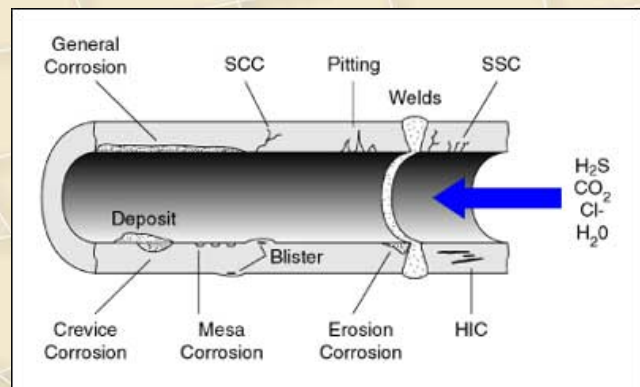
工業界では、点検やメンテナンス作業の対象及び計画を改善し、構築されたリスクベース手法を配管の包括的管理に取り入れることによって、利益を得られる機会がある事が認識されています。

RISKWISE for Pipelines™

- 配管部分の不具合発生の可能性やその結果を査定し、各々の配管や配管網のリスクを項目別にし、残存寿命のプロファイルを作ります。
- 厄介な点検のアウトプットや幅広いレンジの超音波テスト（UT）（例. Teletest®）レポートにも対応します。
- 使い易く、またリスクモデルによって量的だけでなく質的な入力も可能であるため、習得が簡単です。
- 定期的にアップデートされる関連する全てのダメージメカニズムのデータベースや、不具合の可能性や結果の定式化するためのガイダンスも含まれています。
- フォーカス/非フォーカスモジュールにより、ユーザーによる損失リスクの軽減や既存の点検プログラムの最適化が可能です。
- 各配管や配管網においてリスクが高い場所を特定し、的を射た適切な点検を可能にします。
- 一定期間における不具合リスクを求め、これを正式なベースとして残存寿命を査定し、配管点検周期を確立します。

主な利点

- オイル、ガス、化学物質、水輸送の配管寿命管理のための簡単でコスト効果のある手法をユーザーへ提供します。
- 点検データを、“直接査定”のための配管のリスクや残存寿命のプロファイルに移します。
- 最適なリスク軽減対策が簡単に選択できます。



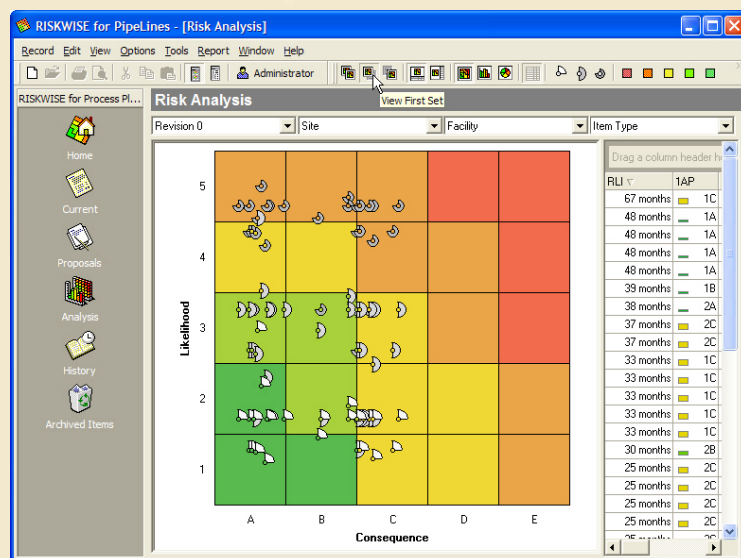
RISKWISE™ は TWI 社のソフトウェア製品です。

主な特徴

- ユーザーを満足させる使いやすく分かりやすいソフト
- 監査チーム手法－プラント経験の活用。
- 既存の点検データ管理システムとインターフェース接続。
- 時間ベースのリスク監査モジュール。リスクと残存寿命による装置のランク付け。
- 正式な信頼性ルールを基にした点検頻度－残存寿命インジケータ（RLI）モジュール
- フォーカス/非フォーカスモジュール－最適な軽減対策を簡単に選択。
- 詳細な定量化による可能性の査定が必

要な高いリスクのエリアを特定。

- 各種監査に対応可能なアウトプット－保険会社やイギリス政府にも認められています。



Risk distribution of pipelines within a network

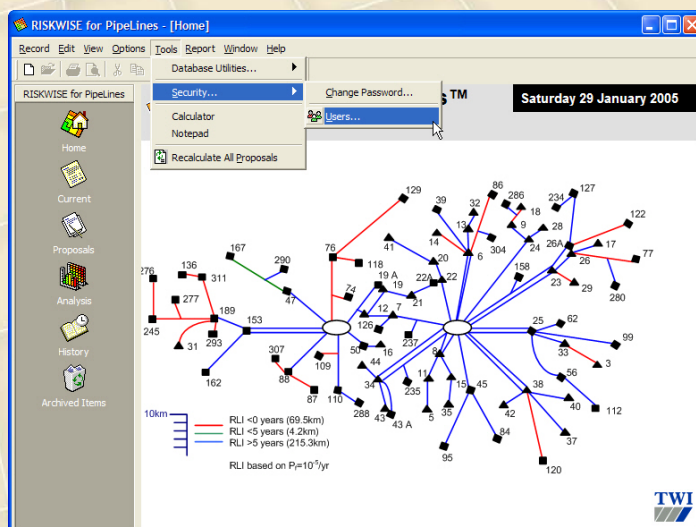
実施方法

RISKWISE™ は、オイル、ガス、化学物質、水輸送を含むあらゆる種類の配管に適用されます。一般的に採用されている方法は以下のとおりです。:

1. 対象となる配管や配管網に応じたソフトのカスタマイズ及び必要情報の登録。
2. ソフトのインストール
3. ソフトの実践や機能性に関するトレーニング
4. 必要に応じたバックアップサポート

環境要件

- PC（スタンドアローンあるいはネットワーク接続されたもの）
- MS-Windows OS（NT 4.0 以上）



Pipeline remaining lives using GIS display

お問い合わせ

TWI 社製 RISKWISE™ 全シリーズ製品の最新情報は、riskwise@twi.co.uk へお問い合わせくださるか、弊社ホームページをご覧ください。



TWI Software
Granta Park, Great Abington,
Cambridge CB1 6AL, UK

Tel: + 44 (0) 1223 891162 Fax: 44 (0) 1223 892588

E-mail: riskwise@twi.co.uk

Website: www.twisoftware.com/riskwise